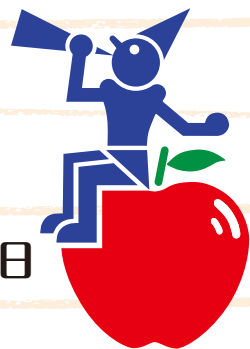


議会 だより



令和3年10月20日

飯田市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.225

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙

2歳児学級(橋北・橋南・東野合同)

～リトミックで、みんな笑顔～



今回号より議員紹介をスタート
2人ずつ紹介します・・・⑫

令和3年

第3回 臨時会

8月2日
開催

第3回臨時会では、市長提出の一般会計補正予算（第4号）案にかかる議案審議を行い、原案のとおり可決しました。また、2件の専決処分報告を受けました。

この補正予算案では、新型コロナウイルス感染症の水際対策として、抗原定性検査にかかる2万4,000個の簡易キットの購入、検査委託など2,915万円の費用が計上され、財源は一般財源となっています。

抗原定性検査（簡易キット）を活用した

水際対策事業の概要

感染拡大地域から当地域へのウイルスの持ち込みを防ぐには、他地域との往来者を積極的に検査することが肝要であることから、市では、6月から7月にかけて抗原定性検査を活用した社会実験を実施しました（簡易検査キットを無料配布し、検査キットの実用性や検査ニーズを調査）。アンケートによるデータ収集と医師会の協力による分析から、市では、水際対策事業としての有効性を確認し、8月から令和4年3月まで簡易検査キット2万4,000個を配布し、水際対策を継続します。

新型コロナウイルス感染症対策

抗原定性検査の活用を求め、国に意見書を提出

6月下旬頃から始まった第5波、全国では8月20日に2万5,000人を超える新規感染者数を記録。8月19日には、飯田市も長野県の感染警戒レベルが「5」となりました。飯田市議会では、8月に入って毎週、議会災害対策会議を開催し、市民からの意見・要望や議会・議員活動などについて協議してきました。

そのような中、飯田市では、抗原定性検査（簡易キット）を活用した水際対策に独自に取り組んでおり、議会としても評価。この抗原定性検査を活用した水際対策の有効性を伝え、全国的な展開とその支援を要望するため、国に対して意見書を提出することを議決。8月31日付けで内閣総理大臣、衆議院議長等へ意見書を送付しました。

意見書では、次の事項の実施を強く要望。

- 1 感染拡大地域では保健所業務が逼迫（ひっぱく）していることから、保健所業務の負担軽減を図りつつ、簡易検査キットを活用した陽性者感知システムを早期に構築すること。
- 2 全国的な感染拡大に歯止めをかけるため、地方都市において、当市と同様の水際対策を全国規模で行うこと。また、その対策に必要な財政措置を講ずること。

- 3 簡易検査キットの増産をメーカーに依頼し、数量を確保すること。また、簡易検査キットについては、経済界から国に対して、薬局等で販売できるよう申入れがあったところであるが、一定数量の生産体制が確保されるまでの間は、行政が中心となり、感染の可能性の高い様々な場面において、簡易検査を行えるよう国内における体制を整えること。
- 4 市販されている簡易検査キットの精度を保つため、モニタリング調査を定期的に継続して行うこと。

令和3年度 議会報告・意見交換会



昨年の議会報告・意見交換会では、新型コロナウイルス対策として、入場時に検温・消毒を実施しました。

10月上旬の開催は中止

※広報広聴委員会でも今後について検討中※

令和3年

第3回 定例会

8月31日
～
9月27日
開催

第3回定例会は、市長提出の報告案件2件、人事案件3件、条例案件2件、一般案件3件、予算案件7件、決算認定13件の議案審議を行い、原案のとおり可決・同意・認定しました。また、請願審査の結果を受けて総務委員会より議案1件が提出され、審議を行い、原案のとおり可決しました。

予算決算 委員会

委員会における議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています。



第3回定例会において、予算決算委員会へ付託のあった補正予算にかかる予算議案7件、決算認定等15件の全22件を審査しました。

飯田市議会では「決算議会」といわれる今定例会の委員会の議案審査を行政評価と連動させ、決算審査で個別事務事業評価を実施しました。また、委員会と一般質問の日程順を変えて、政策につながる審査の充実を図っています。

分科会の審査の様子は、8ページからの各委員会ページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 第10弾

抗原定性検査を活用した水際対策事業 検査キット5万個の追加について

Q 長野県も検査キットの配布を始めたが、市のこの事業は、いつまで行うか。

A 市の事業としては来年3月まで継続する。県の検査キットはまもなく届くので、県の条件を踏まえた上で、市民にどういった形で配布するのがよいか検討していく。

Q 国や県からの検査キットの提供が始まれば、市の用意したものは無駄にならないか。

A 県の検査キットは、症状の出た方に使用してもらおうものであり、市の検査キットは、無症状であるが県外との往來のあった市民等に使用してもらう。検査キットはまとめて発注せず、分割して調達していく。

令和2年度成人式中止に伴う キャンセル料等補助金について

Q 振袖などの衣装等にかかるレンタルのキャンセル費用の補償であるが、購入のケースと合わせ、助成に対する検討・議論の経過は。

A 令和2年度の成人式は当初1月実施の予定を8月に延期して実施を見込んだが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とし、再実施はしない。成人式に参加するための振袖などの衣装等のレンタルは、新成人などの借り手

側に所有権はないため、成人式中止に伴って、キャンセル費用の負担だけを強いたことになる。一方、購入の場合は、購入された方の所有物として、後に着用できることから、議論の上、補助対象としない判断をした。

飯田市観光関連事業継続応援金について

Q 参考資料として長野県の業種別売上高比較を示されたが、飯田下伊那に関しては。

A 飯田下伊那に関する同様のデータがなかったため、業種ごとに聞き取りを行った。観光関連の事業者では、前年比50パーセント以上売上が減少している事業者が相当数あり、他業種と比較しても特筆していることが判明したことから、当該事業の実施を考えた。

1冊2,000円に
1,000円のプレミアムが付く!



市では、消費喚起とともに地域の支え合いによる事業者支援を図る「お買いもの商品券」事業を11月から実施

コロナ禍を乗り越える 取り組みについて

宮脇邦彦 議員 (公明党)



A 医師会との連携の下、供給量に合わせて計画的に進めている。接種対象は現在、若者層へ移行している。「飯田市民支え合い市内観光キャンペーン」の宿泊クーポンは、販売金額では56パーセント余を販売している。コロナ警戒レベルが5に引き上げられたが、長野県の観光誘客方針では同居家族での利用は引き続き可能としたため、市もそれに準じている。

Q コロナワクチン接種への取り組み状況と、「飯田市民支え合い市内観光キャンペーン」事業のその後は。

ズバリ 市政を問う!

第3回定例会の一般質問の概要を紹介します。(13名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



三六災害から60年、 防災・減災対策の考え方について

福澤克憲 議員 (会派きぼう)



A 一般財団法人飯田市天竜川環境整備公社が実施した測定の結果では、令和2年9月時点の土砂堆積量の推定は約15万m³。令和2年度のしゅんせつ(堆積物除去)量は約3万m³であった。治水対策は、今後も国・県・市が連携して取り組んでいく。また、地元との情報交換、情報共有を図り、地域住民の安全安心を確保していく。

Q 天竜川の土砂堆積・しゅんせつの状況は。治水対策は国・県・市、地元の連携した取り組みが重要では。

通学路における子どもの安全安心 のための取り組みは

小林真一 議員 (公明党)



A 保護者の声を通学路の改善と認識している。通学路に関する情報や要望を学校へ直接連絡していただいても良いことを、保護者に周知していく。また、PTA活動等を通じて学校がしっかりと改善要望を把握し、地区要望へとつなげていく。飯田市長会や飯田市PTA連合会等とも連携して取り組んでいく。

Q 危険箇所に関する保護者からの意見・要望を吸い上げる受け皿・窓口を各小中学校に設置させる考えは。

新型コロナ感染後の 自宅療養者への対応について

古川 仁 議員 (日本共産党)



A 当地域では、自宅療養も含めたコロナ感染者への対応は、広域的な対応となっている。自宅療養者への市のサポートが必要なケースがあれば、保健所から、市に必要な情報が届くように連携体制をとっている。当地域において、自宅療養者も含め、一人もコロナを理由に命を落とすことがないよう、行政をあげて全力で取り組んでいる。

Q 県からの情報が限られる中、急変が心配される自宅療養者をどう把握し、ケアするか。

コロナ禍やデジタル化の 影響から子どもをどう守るか

山崎昌伸 議員 (新政いいだ)



A 菅首相の言う「自助・共助・公助、そして絆」という考え方の順序は、子どもを巡る環境においては違和感を覚える。家庭・地域・学校をその順番で当てはめるべきではなく、コロナ禍においては、地域全体、国全体でという観点に立たなければ子どもを守れない。みんなが子どもの安全安心を守っていく公助の考え方が大事である。

Q コロナ禍を含め、様々な影響を受けている子どもの心と身体を守るには公助の充実が不可欠では。

コロナ禍及びポストコロナのスポーツ振興について

小平 彰 議員 (新政いいだ)



Q 「子供の体力・運動能力」及び「成人の日常的なスポーツ習慣」の数値を踏まえての取り組みは。

A 飯田市の子どもたちが運動が好きと答えた割合は全国平均より高く、大切にしたい。体力・運動能力調査は平成27年度より向上したが、全国平均との差があり、体力向上プランによる1校1運動や日常的な運動の推進等に取り組む。市民意識調査では、4割の市民がスポーツを行う機会がないという結果があり、ウォーキングやニュースポーツ等を推進したい。

新型コロナウイルス感染症対策について

清水 勇 議員 (会派きぼう)



Q 飯田市内の今後の医療対応について、市立病院の妊婦さんへの対応と一般患者への対応は支障がないか。

A 市立病院は地域で唯一分娩できる病院として、新型コロナウイルス陽性の妊婦さんの受入れは当然のことであり、感染防止を図りながら分娩できるように、診療のガイドラインに基づいて院内体制を構築している。一般患者に対しても、保健所や地域内の医療機関と連携をとり、医療の提供を確実にできる体制をとっている。

■保健所と市の取り組みについて

事故で損傷した防護柵の復旧をもっと早くできないか

木下 徳 康 議員 (新政いいだ)



Q 車両事故で損傷したガードレールを原因者に代わり市が復旧すればもっと早くできるのではないか。

A 令和2年度は30件のガードレールの損傷があり、復旧に6日から100日、平均して30日を要した。復旧は事故を起こした原因者が行うのが原則としている。議員提案の道路管理者の市が直接復旧工事を行い、原因者に負担金を請求するという方法については、代理人となる保険会社、施工会社にも確認しながら、実務的な課題も含め、今後研究していく。

対面が制限されている状況下のデジタル化推進は

市瀬 芳 明 議員 (日本共産党)



Q 運動会など学校行事が計画されているが、人数制限や時間制限がある。行事のオンライン配信は可能か。

A 学校は既に有線・無線のインターネットの接続環境が整っており、設備的には可能である。対象を限定してURLを伝えての配信方法もあるが、著作権保護の観点から背景の掲示物や使用する音楽、肖像権や個人情報保護の観点からも保護者の同意が必要となる場合がある。配信する側の知識や意識を高め、保護者の理解も頂きながら対応していきたい。

農産物や希少植物等に対する鳥獣被害対策と里山の整備について

新井 信一郎 議員 (会派きぼう)



Q 長雨やコロナ禍の長期化で、里山へ人々の出入りが減ったことで鳥獣被害が多くなった。今後の対策は。

A サルによる農作物被害の減少効果が見られる電気柵の延伸は、設置場所、設置費の負担、設置後の維持管理等について、該当地域での意思決定が重要である。里山観光の面では、遊歩道や登山道を整備し、観光誘客につなげていく。ツリークライミングは、森林に興味を持ってもらうための有効な手段であり、今後の施策に活かしていきたい。

コロナ禍等によるリニア駅周辺整備実施設計の影響は

岡田 倫 英 議員 (会派きぼう)



Q 駅周辺施設のプレオープンを示唆したが、リニア開業が遅れても魅力がある場所にする考えなのか。

A 駅前空間の整備は、乗降客に限らず、市民の日常的な利用も想定している。駅前空間は、心地よく、にぎわいを創出できる魅力的なものにする必要がある。また、駅の開業が仮に遅れた場合でも、駅前空間としての機能をスタートさせるという可能性についても考えている。

■コロナ禍における児童生徒への対応について

災害から暮らしを守るために

関島百合議員（無党派）



Q 豪雨災害に備えて「山の保水力」を高める森林整備には、どのような課題があるか。

A 森林整備を進めるには、森林の所有者の確定が必要だが、所有者不在の森林の整備が進まない状況がある。また、森林整備を担う技能者の高齢化や担い手不足の問題もある。森林環境譲与税を有効に活用するとともに、飯伊森林組合と連携し、人材育成や担い手確保を推進していく。

■有機農業を生かしたまちづくり

ともに支え合う 男女共同参画社会について

佐々木博子議員（会派みらい）



Q 市長としてジェンダーギャップの解消についてどう考えるか。

A 組織の中で女性が役割を担うことは大事である。他方で、年齢が来たという理由や、女性管理職の割合を増やそうという考えで、数字を追いかけるとは解消につながらない。市では、公民館主事や自治振興センター所長といった職責を若い頃から担う女性職員を増やす取り組みを行っている。その中で役割を担う女性の割合が増えるよう進めていきたい。

【委員会審査における意見】 「地方自治体は人口減少、少子高齢化の中で、新型コロナウイルス感染症の影響によって、税収の大幅な減収が見込まれる。このことは、喫緊の課題である。地方財政の充実、強化を求める趣旨は適当」

【委員会の結果】 「採択」となりました。

請願・陳情審議の結果について

9月14日から15日までの2日間にわたる第3回定例会の一般質問では、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の観点から、議場に入場できる議員数を制限し、分散により実施しました。議員それぞれの一般質問の後に、議場の換気や演台の消毒を行いました。また、一般質問の傍聴は自粛をお願いいたしました。



新型コロナウイルス対策
一般質問における市議会の取り組みについて

国に対し、「地方財政の充実強化を求める意見書」を提出しました

【意見書の主旨】（一部省略）

地方公共団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、税収の大幅な減少が見込まれるとともに、地域経済の活性化・雇用対策・デジタル化の推進等、喫緊の課題を踏まえた財政運営が求められている。

よって、国において、地方公共団体がその担うべき役割を確実に実現するため、地方財政全体の安定確保に向けて、次の事項について対策を講ずるよう強く要請する。

【要請事項】

- 1 一般財源総額の確保に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策、デジタル化の推進、地域経済の活性化・雇用対策、社会保障、人口減少対策、国土強靱化等の地方公共団体の財政需要を的確に把握し、反映させること。
- 2 地方交付税による財源調整機能及び財源保障機能の強化を図るとともに、臨時財政対策債に頼らない地方財政の確立に引き続き取り組みこと。
- 3 地域間の財源偏在性を是正するための抜本的な解決策を協議すること。
- 4 地方財政計画における「まち・ひと・しごと創生事業費」を、持続可能な地域社会の維持・構築のために継続・拡充すること。

「いいだ未来デザイン2028」の中期計画2年目へ向けて

令和3年度「議会による行政評価」からの評価・提言書を市長へ手渡す

飯田市議会が、自治基本条例に基づいて取り組んできている「議会による行政評価」は、今年度は、「いいだ未来デザイン2028」の中期計画初年度の進行管理として、戦略計画（小戦略）が基本目標の達成に向けて、中期4年間で取り組む内容として適当かどうか、評価・検証を実施しました。また、進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が小戦略の達成度、あるいは進捗状況を図る指標として妥当かどうか、他に指標が必要かどうか等についての検討を行った上で提言につなげました。

井坪隆議長から佐藤健市長へ評価・提言書を手渡した後、予算決算委員長の山崎昌伸副議長より今年度の取り組みの全体を総括して説明。さらに、分科会を担当した熊谷泰人総務委員長、木下徳康社会文教委員長、竹村圭史産業建設委員長より基本目標・小戦略に対する評価や提言、事務事業のうち「改善」と評価した事務事業について説明しました。

令和2年度の決算報告における事務事業評価は、112事業を対象として分科会を中心に評価を実施しました。そのうち、事業費の増額あるいは減額を含み、検討・見直しの方向性から「改善」としたものは15事業あり、主な内容は、次のとおり。

▽旧飯田測候所は、有形文化財としての目的に



9月27日の第3回定例会閉会后
井坪議長から佐藤市長へ
評価・提言書を手渡す

沿った運営について検討を

▽川路の「メガソナーいいだ」のPR施設は、当初の目的を達成しているため、廃止の検討を

▽自転車を利用した環境対策は、その役割を総括し、廃止の検討を

▽「空き家対策事業」は、空き家状況を再調査し、活用の推進を

▽消費生活相談件数は年々増加しており、人材確保を

▽「大学とのネットワーク事業」は、地域振興につながるような取り組みを

▽「ジオパーク」は、協議会の連携と事務局体制の強化を

▽リニアの二次交通体系事業は、事業が多岐にわたり関係する部署も多いことから整理を

新型コロナウイルス感染症対策に関する

市長への緊急提言について

わが国では、7月以降、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が急速に増加しています。全国的には、行動制限が呼びかけられているものの、人流が減らず、気の緩みやコロナ疲れも相まって、感染拡大に歯止めがかかっていません。こうした行動変容については、感染しても風邪程度で、大事に至らないという症状に対する認識が、警戒感を薄め、ワクチンの接種控えや感染予防行動を甘くしている可能性があります。デルタ株による急速な感染拡大を踏まえ、これまでの対策に加えて、次の事項を実施されるように、8月19日に議会より市長に対して緊急提言を行いました。

【提言事項】

- 1 新型コロナウイルス感染症の症状である「軽症・中等症・重症」に係る正しい認識に関する周知について、有効な対策を講じられたい。
- 2 当地域においてもデルタ株への置き換わりが進んでいることから、爆発的な感染拡大を抑制するため、感染力の強いデルタ株の脅威について、広く周知されたい。
- 3 検査キットによる水際対策については、市民ニーズが極めて高いことから、「市民と共に創り上げる新たな行動変容」につなげ、コロナ禍における地域経済の回復と危機に強く、安心で安全なまちづくりの実現を図られたい。

総務委員会

9月6日～7日、
及び9月16日に
委員会等を開催。



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

予算決算委員会総務分科会における
令和2年度決算報告の審査から

地域自治組織助成事業
飯田市パワーアップ地域交付金に関して

Q 令和2年に行った配分方法見直しにより飯田市パワーアップ地域交付金が増額されたが、その結果はどうか。さらに見直す考えはあるか。

A 人口割について、人口変動推移を反映させた。令和元年度の推計人口が、令和3年度の実際の人口と差が大きかった場合は、計算方法を見直す予定だったが、推計値との差がなかったことから、これまでの方法を継続する方向でまとめつつある。

Q 市民から『面積割』を求める意見があったが、検討してはどうか。

A これまでの20地区全体の検討の中では『面積割』を追加することは難しいと考える。交付金の総額が、1億5百万円に増額されたが、各地区でメリハリのある活動に使用されているかチェックしていくことが必要では。

A 各地区が交付金を活用し、どのように取り組んだか説明できるように今後検討し

ていきたい。

総合的な空き家対策事業に関して

Q 危険な空き家の所有者への指導件数が伸びているが、理由は何か。

A 管理不全の空き家への対応は、一朝一夕に解消できる問題ではなく、通知等により継続的に取り組みを進めてきた結果である。

Q 通知以外に、所有者へのフィードバックはどうであったか。

A 状況に応じて、電話などで連絡を取っている。

【要望】 通知だけで空き家の状況が理解されているのかは疑問。遠方の所有者は、空き家の管理が困難であり、犯罪や事故の現場とならないよう留意してほしい。



市ホームページで公開中の空き家物件
移住定住施策としても
「空き家バンク」の活用が期待される



東野地区で実施された
避難所運営ゲームの様子
防災について共に考えましょう!

「地域自主防災体制は維持できるか」を
テーマに委員会活動を進めます!

人口減少・少子高齢化に伴う自治会加入率の低下や担い手不足、やらされ感・負担感といった地域活動の悩みや疲労感は、全20地区が同じように直面し、出口を見出せていません。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域コミュニティ機能の低下が危惧されます。そのような中、近年多発する豪雨災害や30年以内に起こるであろう大規模地震に備え、各地区自主防災会の役割は非常に大きくなっており、地域コミュニティ機能の低下は被害の拡大を招きかねない重大な課題といえます。人口減少時代における地域コミュニティのあり方について、三六災害から60年の節目にも当たる年でもあり、防災をテーマとして委員会活動に取り組んでいきます。

社会文教委員会

9月7日～8日、及び9月15日に委員会等を開催。



委員会の様子はYouTubeをご覧ください。

予算決算委員会社会文教分科会における令和2年度決算報告の審査から

競技力向上推進事業に関して

Q 指導者養成講座の種目はどのように選定されるか。

A スポーツ協会が中心となって種目を選定してきている。

Q 指導者育成については、単年度で効果を出すことは難しいと考えるが、地元出身者が全国大会を目指すための今後の進め方は。

A 地元出身者が全国大会へ出場するには、プロクラブチームなどがない現在の環境からは難しいと考えている。行政としては、競技力向上を広く進めるうえで、その指導者の育成を進めていく。

★「いいだ未来デザイン2028」の令和2年度の小戦略「スポーツ文化の醸成に向けた取り組み」について評価し、全市型競技別スポーツスクールへの中学生の参加率が低いこと、今後の方向性を含め検証が必要であることを提言しました。

介護人材確保対策事業に関して

Q 介護職員研修は、県でも同じような政策を実施しているが、市の事業の位置付けは。

A 介護人材の確保は喫緊の課題であり、市として、事業者とも連携して事業を組み立て、実施してきた。しかし、受講者数は伸びなかった。

Q 受講者数が少ない要因は、予算規模が小さいためか、拡充の考えは。

A 周知不足により活用が進まない面があると考えており、引き続き周知を強化していく。また、より使いやすい制度として見直していく。

Q 実態把握のため、事業者に対してアンケートを実施されているが、調査から見えてきたことは。

A 事業者に対し、介護人材が不足しているかどうか確認するとともに、労働条件や職場環境について課題が見えてきている。ICTを活用した改善などを、事業者と協議・検討していきたい考えであるが、コロナ禍が進められていない状況。



体操教室の様子

介護予防・フレイル予防とともに働き盛り世代からの健康づくりが重要

令和2年度一般会計補正予算第5号案の分科会分担分についての議案審査から

情報モラル教育推進事業費の増額補正に関して

Q 国語や算数などの通常の授業の中で、情報モラル教育を行うということか。

A 特別活動や道徳のなかで情報モラル教育を行い、学習の全体的なバランスを、通常の授業時間へ影響しないようにしていく。

Q 情報モラル教育の内容は。

A インターネットの使用上の注意事項などについて、専門家等から講演を受ける。

Q 情報モラル教育は重要と考えるが、当初計画から変更した経緯は。

A 当初予算編成時は、学校単位で実施を計画したが、講師などと協議・調整するなかで、特に小学校における拡充を図っていく。

★「いいだ未来デザイン2028」の令和2年度の小戦略「ICTを活用した飯田市の教育課題へ対応と、21世紀型スキルの習得」について評価し、インターネットや端末機器の適切な使用に対する課題認識が不十分であることを指摘。モラル教育やネットから子どもを守るための取り組みが急務であり、教職員の負担などにも配慮した慎重な推進が必要であることを提言しました。



産業建設委員会

9月8日～9日、及び9月16日に委員会等を開催。



委員会の様子はYouTubeをご覧ください。

予算決算委員会産業建設分科会における
令和2年度決算報告の審査から

雇用対策事業

大学生等の地域内就職支援に関して

Q 昨年度のオンライン企業説明会への参加人数は。

A 飯田職業安定協会が毎年3月と5月に行っていた企業説明会を、コロナ禍で県境を越えて学生に来てもらうのが難しかったため、オンラインで開催するとともに、その様子をYouTubeで配信した。昨年度の参加人数は延べ460人であった。

技能者育成支援事業に関して

Q 飯田高等職業訓練校の在校生確保のため、市が行う具体的な支援は。

A 補助金による支援、学校との情報交換、情報の周知などである。

【要望】

飯田型キャリア教育推進事業の対象が事業所となっているため、同事業の視点をもって取り組まれない。

農畜産物ブランド向上

6次産業化推進事業に関して

Q 市田柿の海外展開プロモーションとして、今後どのような国を対象としていくか。

A 現在はコロナ禍で現地へ行くことはできないが、昨年からマレーシアのバイヤーと交渉を進めている。東南アジアが中心だが、ヨーロッパ、アメリカなどにも輸出ができないか検討している。新たにGI認証が取れたマレーシア、ベトナムなどにも売り込んでいく。

防災・安全対策事業に関して

Q 繰越明許を行った理由は。

A 昨年7月の豪雨災害により、測量、設計コンサルタント、建設事業者にも多くの業務が発生し、事業に遅れが出たこと。また、災害工事が多く発注されたことで、製品、資材の製作が遅れて納品が遅くなったことなどによる。

Q 令和2年度と3年度の見通しは。

A 令和2年度から繰り越した業務はおおむね順調に進んでいる。令和3年度は5月、7月、8月と災害が起きているが、早期発注により、測量、設計コンサルタント、建設事業者の協力を得ながら事業を進めていきたい。

Q 地方債が組める期限は。

A 緊急防災減災事業は5年間の国土強靭化計画の中で実施する事業が該当する。

議案第93号、過年発生土木施設補助災害復旧事業橋りよう架設工事にかかる工事請負契約の締結についての議案審査から

令和2年7月の豪雨で被災した

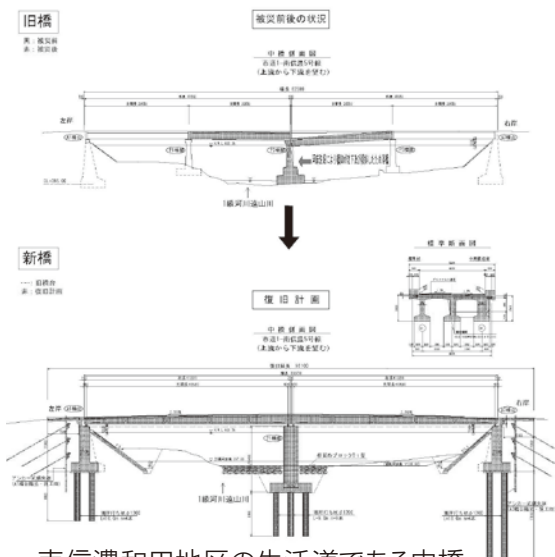
遠山川 中橋の復旧工事に関して

Q 橋りよう架設工事にかかる契約金額と施工期間は。また、供用開始の見込みは。

A 契約金額は5億6,430万円であり、橋りようの復旧に関する新橋架設に係る費用である。施工期間は、議案の議決日から令和5年3月24日まで。供用開始は、それ以降となる。

Q 橋りようの構造は。

A 中央の4メートルが車道部分で、両側の60センチメートルが転落防止の柵を設けるための構造物である。



南信濃和田地区の生活道である中橋 早期復旧が期待される

リニア推進 特別委員会

9月13日に
委員会等を開催。



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

予算決算産業建設分科会・リニア推進連合
会議における令和2年度決算報告の審査から

代替地整備事業に関して

Q 令和2年7月の豪雨などにより丹保・北条地区代替地整備が今年6月まで延びたとの説明だが、移転される皆さまへの影響は。

A 代替地の整備状況については、代替地に移転をされる方や、代替地を希望される方に対し、逐次の状況を説明し、交渉を進めてきており、大きな支障はなかったと考えている。

リニア駅周辺整備事業に関して

Q 取り組みが遅れているブランドクリエイトプロジェクトでは、本年8月に委託契約に至ったとの説明だが、その内容は。

A 魅力発信施設の担い手の運営スキーム、情報発信などのいわゆるソフト部分を検討していくことを目的とし、今後の担い手となる事業者の発掘と育成、今後の事業体制の構築に向けた検討、内外に向けた情報発信の検討準備を進めていく。

Q ブランドクリエイトの受託者は都市部の業者であるが、事業の検討・協議の状況は。

A コロナ禍のため、オンラインで検討・協議を行っている。委託事業者は、基本設計時にヒアリングで当地域に入っており、地域の状況がある程度把握できている。

Q 駅本体への地元産材活用など、駅の構造に関して、JR東海との協議の進展は。

A 昨年、JR東海から、本線の軌道部分などの構造体に関して公表はあったが、駅舎については公表されていない。駅舎の基本設計に合わせて、今後も木材の活用や使い勝手に影響する部分などに関して協議していく。

Q 駅とJR敷地内に設置予定の施設との協議は並行して進めているか。

A 施設はもとより、屋根や通路、動線も重要であることから、今後JR東海と詰めていく。



飯田・リニア駅前空間デザインノートの大屋根下のイベントスペースのイメージ
どのような駅周辺となるか注視していく

リニア推進特別委員会による 北陸新幹線飯山駅・長野駅の視察に関して

7月13日に飯山市と長野市を目的地として
管外視察を実施しました。

新幹線駅周辺整備事業の経緯・現状・今後の方針、新幹線駅周辺施設、地元経済、市民との対話、在来線との接続など基本的な事項のほかに、飯山駅の視察では、新幹線駅周辺整備事業への市民の参画状況について、長野駅の視察では、元々の賑わい、街の魅力を備えている市街地と駅をどのように結びつけたか、各市の担当より説明をお聞きしました。

この視察をふまえて、次の3点を調査研究の重点事項として委員会活動を進めていきます。
①リニア駅周辺整備事業の実施設設計について、幅広く皆さんから意見を聞く機会を設け、事業の展開及び費用の見通しを明らかにし、持続可能な運営形態の研究を進める。

②リニア駅周辺整備事業の実施設設計検討体制における、3つのプロジェクトについて、コロナ禍の影響をふまえつつ、現在の進捗状況を把握し、方向性を明らかにする。

③乗換新駅の設置の要否の判断基準等を明らかにし、JR飯田線とリニア中央新幹線との接続方法についての調査研究を進める。



地元木材をふんだんに使い開放感があふれる飯山駅舎

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～ 変わらぬ楽しみ! ～

こ だいら あきら
小平 彰

オオクワガタは、日本では最大級のクワガタムシです。3～5年生きるクワガタで、乱獲や丘陵地の開発や森林伐採などにより野生個体の生息が危ぶまれており、2007年には準絶滅危惧種から絶滅危惧Ⅱ類に引き上げられたようです。飼育下での繁殖法が確立されて、クワガタにハマっている友達からオスとメスをもらい、とてもうれしくなって育てています。小学生の子どもたちは、ゲームに夢中で私が飼育。夜行性なので昼間は腐葉土に潜ってばかりですが、一晩でパックの餌がなくなるほどたくましいです。早く卵を産んで増えることを望んでいます。他に魚やドジョウ、エビもいます…大人になっても変わらない楽しみはいいものですね。



～ 暑いよりも「熱い」～

しも だいら つね お
下平 恒男

四十年余り農業に従事してきたためか、職業から気象情報は常に気になってしまう。就農当時に比べると予報の精度も随分高くなってきた。同時に平均気温も随分高くなってきた。最高気温が30度以上を真夏日と呼ぶが、35度以上の猛暑日という呼び方も生まれた。ビニールハウスで作業する時間が多いものの、基本的に暑いのは苦手である。「あつい」といえば、今年も東京オリンピック・パラリンピックが、賛否両論のなか無観客で開催された。真夏の開催なので選手はかなり暑いと思われるが、テレビ観戦する側もかなり熱くなった。スポーツ好きで特にプロ野球は、年2回は応援スタンドから「熱い声援」を送ってきた。ちなみに推しは、オレンジがチームカラーの某球団である。

議会の動き(予定)

■ 第4回定例会

開会11月24日(水)～閉会12月17日(金)

□ 代表・一般質問(傍聴可能)

12月6日(月)～8日(水)

□ 委員会日程(傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	11月24日(水)
総務委員会	12月 9日(木)
社会文教委員会	12月10日(金)
産業建設委員会	12月13日(月)
リニア推進特別委員会	12月14日(火)
予算決算委員会後期全体会	12月17日(金)

■ 議会への請願・陳情は、議会事務局へ

11月18日(木)午後5時までに、ご提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、長野県が発出する警戒レベルや市議会災害対策会議の協議の結果に応じて、傍聴の自粛や入場者数の制限、マスク着用や検温などをお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長 福澤 克憲	副委員長 清水 勇
委員 下平 恒男	橋爪 重人 関島 百合
筒井 誠逸	小林 真一 佐々木博子

表紙紹介

がんばっとるに!! 橋北・橋南・東野

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、8月20日に長野県の感染警戒レベル5として「新型コロナウイルス特別警報Ⅱ」が発出され、公民館が休館となりました。

感染警戒レベルの引き下げにより、公民館の使用を再開し、橋北・橋南・東野の3館合同による2歳児学級を橋北公民館で9月21日に開催。

「久しぶりだね」「楽しいね」と参加された方から喜びの声が聞かれました。

コロナ禍で外出や人と会うことが制約される中での子育ての疲れを解消し、親子ともに笑顔と元気を取り戻す行事となりました。2歳児学級は、公民館が主催していますが、保健師や民生児童委員のサポートにより、今後も安全安心な活動を続けていきます。



*リトミックとは、楽しく音楽と触れ合いながら、子どもの身体的・感覚的・知的な潜在的基礎能力の発達を促す教育のこと。